

⑧ 水谷鉄也の留学

水谷鉄也は長崎県島原生まれで、奈良県尋常中学校（校長正木直

彦）中退後、森川杜園

のもとで彫刻を修業

し、次いで本校彫刻科

を明治三十五年卒業

した。同三十八年に母

校助教教授となったが、

同四十三年六月二十二

日に至り、文部省より

三ヶ年間フランス、イタリヤ、ドイツ留学を命ぜられ、同年十一月

二十七日に出発した。はじめパリに滞在し、セーブルを訪問するな

どし、四十四年夏にはブルターニュ地方を旅行。『東京美術学校校

友会月報』第十卷第四、第五、第六号に「ブルターギユ旅行記」を

寄せている。大正二年イタリヤを旅行し、フロレンスで小林万吾ら

と会合し、フランスに戻って各地を見学。その後ドイツに移り、大

正二年十二月二十四日帰国した。『東京美術学校校友会月報』第十

二卷第九号には水谷が『大阪朝日新聞』に寄稿した「歐洲の彫刻

界」の要旨が紹介されており、『美術新報』には水谷の「伊仏雑

感」（第十三卷第四、第五号）その他の寄稿がみられる。



水谷鉄也

第十一節 明治四十四年

明治四十四年度東京美術學校年報

甲 款

概況

明治四十四年四月十七日本校日本畫科西洋畫科彫刻科教室ニ充用
スベキ新築校舍ノ一部成リ假引渡ヲ受ケタルヲ以テ火災後各所ニ
収容シテ授業シタル日本畫科西洋畫科彫刻科ヲ此ニ移セリ

同年六月十一日及十二日ノ両日推古朝時代作品展覽會ヲ催シ朝野

知名ノ士及篤志家ノ觀覽ニ供シタリ

同年十月四日例ニ依リ本校設置紀念式ヲ舉行ス

同年十月三十日文部省圖畫教授法講習會ヲ此日ヨリ十一月十一日

迄本校内ニ開カル

明治四十五年一月八日午前十時ヨリ例ニ依リテ職員生徒一同參集

シ授業始ノ式ヲ行ヒ 御影ヲ奉拜シ 勅語ヲ捧讀シテ式ヲ終レリ

同年三月廿九日午後一時ヨリ第二十一回卒業証書授與式ヲ舉行シ

卒業成績品ヲ陳列シテ來賓ノ觀覽ニ供シ翌三十日ハ関係者ニ縦覽

セシメタリ

規程

本年度内ニ於テハ改正創定セラレタルモノナシ

設備

一、建築科設備費